

My School Life Report My School Life Report

日本画作品展『遊星』

8月15日(土)～30日(日)まで湯布院町のドルドーニュ美術館で、美術科で日本画を学ぶ在學生と現在も制作を続ける卒業生、河上央教授が作品展を開催しました。在學生と卒業生、教員が参加する初の試みでした。



通常、ドルドーニュ美術館は本学学長を務めた宇治山哲平氏の作品を中心に展示している築120年の古民家を改装した美術館です。

今回は、その館内に16名が制作した約20点の作品をゆったりとした雰囲気で開催していました。



声楽特別講義を受講して

御歳79才とは思えぬ燦然と輝く魂のこもった声が、今年も芸短小ホールに響き渡った。厳しくも愛情溢れる瀬山詠子先生のご指導を受けることが出来、我が芸短学生にとっては貴重な経験となったであろう。長年東京藝大で教鞭を執られ、また、数多くの舞台経験をお持ちの先生のお言葉一つ一つに重みがある。学生にとってみれば、音楽史上の人物であろう作曲家、山田耕筰氏や中田喜直氏らとのエピソードに触れられることも、その時代の音楽界を生き抜いてきた先生ならではの講義といえる。学生たちが、この時間がいかに貴重であるかということにどれだけの自覚を持っているか定かではないが、成長と共に必ずや、先生のお言葉を思い出す時が来るであろうということを、信じて疑わない。



<2009年8月6日(木)～9日(日) 瀬山詠子講師による声楽特別講義より>

専攻科音楽専攻声楽コース2年 堀 薫

8月6日(木)～9日(日)、瀬山詠子先生の公開レッスンを受講しました。私は今回で3回目の受講になるのですが、「声」を一つの「楽器」として磨き上げ、豊かな日本歌曲特有の情感を奏でるための大きな知識を毎年得る事が出来ました。声楽発声法での克服しなければならない課題として、先生は「喉で歌わない発声」、「よりクリアな発声での明確な日本語発音」を、毎年変わらず指導していらっしゃいました。

曲の構成、詩の内容においての適切な表現方法など、聴講という形で他の生徒のレッスンにも立ち会い、多くの曲を学び、触れる事が出来ました。

今回までの公開レッスンで学んだ事を活かし、私も今後の勉強に取り組みたいと思います。

My School Life Report My School Life Report

「SAEMON23」 第36回清正公二十三夜祭歩行者天国

感想



情報コミュニケーション学科1年 成松美由紀

一から創り出すことがこんなに大変だとは思わなかった。今までは踊りのチームを作っただけの参加だったが、今回からはステージ企画なども行った。私は清掃班として活動してきた。私の地元のお祭りなので、次の日の鶴崎を知っている。ゴミがたくさん落ちていてすごく汚い。あんなに盛り上がっていいお祭りだったのと思っていた。でも、今回、袋をデザインし、地域の人に活動をチャリで伝え、ゴミを袋に入れて持ってきた人には、綿菓子をおごらせた。当日は小さい子ども達を中心となって手伝ってくれた。終わったとき本当に活動して良かったと思った。

大分七夕まつり

感想



情報コミュニケーション学科1年 小峰華須美

私は8月8日(土)に行われた大分七夕まつり2日目のイベント、七夕ブロードウェイと府内打ち水大作戦に参加しました。朝10時から城址公園で風船にヘリウムガスを入れて結ぶという作業を行いました。いくら膨らまして準備してある風船が全く減りません。それもそのはず、15,000個もの風船があったのですから。15,000個という数の風船を膨らませるのは想像していたよりとても大変でした。そんな苦労があったので、風船をリリースした瞬間は今までに感じたことがないくらいの達成感で満ち溢れました。夜空に舞い上がっていく15,000個の風船を眺めていると疲れていることなんて忘れてしまうし、参加して本当によかったと思いました。